



北風は吹いていましたが暖かい朝を迎えました。先月は寒くてできなかった土壌生物の観察を中心に行いました。

今回で 2013 年から毎月一回行ってきた定例観察会を終えることにしました。長い間ありがとうございました。



ソメイヨシノの冬芽

枝先に見える 3 つの冬芽は、真ん中が花が咲いた後に開く葉芽です。先に咲く花芽がに膨らんで芽鱗を押しのかよとしていきます。3 月下旬には咲き始めるでしょう。



カワウの島

春の営巣期が近づいているようで巣に入っているカワウも見られます。たくさんいたカンムリカイツブリなどの渡り鳥は 3 月に入る頃を境に、北へに帰っていきました。



ツチグリ

土の中で菌糸を伸ばして成長し成熟すると外側の皮が裂けながら開き、上のように胞子の入った袋が出てきます。袋に雨粒が当たることで胞子が押し出されます。

名前	場所	詳細		
調査日 2025 年 3 月 14 日	環境			
5 点グループ いい環境にいる虫たち	<input type="checkbox"/> サトウムシ	<input checked="" type="checkbox"/> オオムカデ		
	<input checked="" type="checkbox"/> アリゾムシ	<input checked="" type="checkbox"/> コムカデ		
	3 種 × 5 点 = 15 点			
	3 点グループ そこそこいい環境にいる虫たち	<input checked="" type="checkbox"/> カニムシ	<input checked="" type="checkbox"/> ナガコムシ	
		<input checked="" type="checkbox"/> シロアリ	<input checked="" type="checkbox"/> ハヤシムシ	
		<input checked="" type="checkbox"/> ツクムシ	<input checked="" type="checkbox"/> 甲虫	
		7 種 × 3 点 = 21 点		
		1 点グループ 悪い環境にもいる虫たち	<input checked="" type="checkbox"/> ヒメミズシ	<input checked="" type="checkbox"/> ダンコムシ
			<input checked="" type="checkbox"/> アリ	<input checked="" type="checkbox"/> ハエ・アブの幼虫
			4 種 × 1 点 = 4 点	
合計 40				

・・・土壌生物調べ・・・ 周回路沿いの林縁で落ち葉やその下の土壌の層から生きものを探し、左の表に見つけたものを記録しました。この表に見つかった生きものを 3 つに分けて記録します。上から 5 点、3 点、1 点と評価し、5 点はいい環境にいる生きもの、3 点はそここの環境にいる生きもの、1 点はどちらにも見つかる生きものを当てはめます。より上のグループの生きものが多い方がよい環境であることを示します。今回は合計は「40点」となりました。一昨年(2023)の 12 月 14 日にも同じ場所で調べています。その時は 36 点でしたのでほぼ同じです。この評価を元にして他の場所と比べることで、自然環境の善し悪しを比べる指標の一つとすることができます。

5 点のグループ



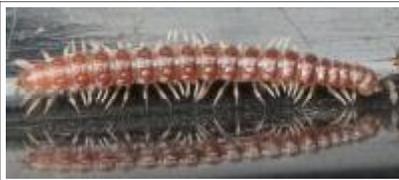
セシアカムカデ

体長50^{ミリ}。歩脚は23対。毒を持つので噛まれないよう注意すること。肉食性。



コハクガイ

殻径5^{ミリ}。光沢感がある巻き貝。



オビヤスデの一種

ムカデのように節から脚が出ているが、ムカデは一本ずつでヤスデは2本ずつ出ているので脚が多く見える。朽ちた植物や葉を食べる。

3 点のグループ



イッスンムカデ

体長30^{ミリ}。歩脚は15対。赤ムカデに比べ小さく噛まれることはほぼないと思われる。



ツチカメムシ

体長10^{ミリ}。徘徊性。植物の根や落ちて実などから汁を吸う。



ゴミムシダマシの一種幼虫
体長20^{ミリ}ほど。ゴミムシに近い甲虫の幼虫と思われる。キマワリの幼虫は色が濃く尾端が斜めに切れ落ちる。

1 点のグループ



シボグモ 体長10^{ミリ}。腹部のまだら模様を「シボ」に見立てているようだ。



イレコダニの一種
植食性のササラダニの仲間



アヤトビムシの一種
体長3^{ミリ}ほど。体表に毛がある。尾端に跳躍器があり跳び跳ねることからの名前。

植物 ミチタネツケバナ、ハコベ、フサザキスイセン、シキザクラ、ウメ、ヒサカキ雌雄・雄花が匂う、冬芽膨らむ(ソメイヨシノ、イロハモミジ、コナラ、ヤマモモ、ユキヤナギ、ヒマラヤスギ、ネズ等)、**昆虫** オオカマキリ卵のう、チュウゴクアミガサハゴロモ産卵痕、クリオオアブラムシ卵、マドチャタテの一種、**蜘蛛** ジョロウグモ卵のう、ウヅキコモリグモ、多数、マダラフクログモ、ハエトリグモの一種の卵、**鳥** シジウカラ、カラス、ヒヨドリ、オオバン、カイツブリ、カワウ、**その他** モグラの坑道、ニホントカゲ(樹皮の間で越冬)、茸(ツチグリ)、

土壌生物 ワシグモの一種、シボグモ、コタナグモ、クスマダニグモ、ヤガタアリグモ、不明グモ一種、セシアカムカデ、イッスンムカデ、イッスンムカデ、コガシラナガゴミムシ、オオヒラタシデムシ、ゴミムシダマシの一種の幼虫、ツチカメムシ、ゲジ、オビヤスデの一種、トビムシ数種類、ヘソイレコダニ、ワラジムシ、オカダンゴムシ、ミミズ、ナミコギセル、オカチョウジガイ、コハクガイ、ヒゼンキビ、ウスカワマイマイ、菌糸

ヒサカキ

